



祈りを込めた和太鼓の音色が響く

阪神・淡路大震災で犠牲となった児童・生徒、教職員の方々のご冥福をお祈りし、震災の教訓に学ぶ教育の創造をめざす決意を新たに「追悼の夕べ」が、1月17日午後5時半から、ラッセホールにておこなわれた。この会は今年で17回



「しあわせ運べるように」は東日本の被災地で

歌詞の「こうべ」を「ふるさと」に変えて歌い継がれている

命の大切さ、防災教育と心のケアの重要性をあらためて！

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 山名 幸一
編集人 泉 雄一郎
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
組合員の購読料は組合費の中に含む

2012/2-1
No. 1806

2面

・第3回母と女性教職員兵庫集會
・お正月ファミリーパズル当選
・近畿中央病院公開講座

兵教組山名幸一執行委員長からは、「昨年はこの追悼の夕べの約2ヶ月後、3月11日に東日本で大震災が勃発した。また大津波・原発事故が続き、史上例を見ない甚大な被害が発生している。阪神・淡路大震災の時、



1.17への思いが語られた

追悼の歌では、神戸市立桂木小学校合唱団37名の児童により、震災当時から神戸の子どもたちによって歌

はじめに、神戸市灘区を中心に活動する「ときめき倶楽部・鬼塚太鼓」のみなさんによる追悼の祈りを込めた和太鼓演奏がおこなわれ、会場は厳粛な空気に包まれた。

震災の犠牲になられた方々の分まで命を大切に、これからも努力を続けることを約束する。」とあらためて誓いがあつた。

また感謝と友情をテーマに開催した第1回神戸マラソンでは、支援いただいた国内外の方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、「必ず復興できる」というメッセージを東北に発信できたことも大きな意味を持つた。今後も防災教育を一層

深い被害を被った人も人々は力を合わせて復旧復興に立ち上がってきた。街のあちこちで人々が助け合い、命の大切さと生きる素晴らしさを実感した。共に励まし合い、困った人には手を差し伸べる。こんな当たり前の地域づくりや、人との連携・連帯の関係づくりが今問われている。

続いて、大西孝県教育長は挨拶で「阪神・淡路大震災を直接経験した子どもたちは、今やすべて中学校を卒業し、教職員として震災を経験した者も減ってきている。」

東日本大震災の体験を踏まえるとともに、あらゆる事態を想定した地域コミュニティづくりや防災文化・教育の創造を推し進めていかなければならない。

17年前の大震災で全国からいただいた支援に報いるために発足した「震災・学校支援チーム(EARTH)」は、今回の東日本大震災発生直後から宮城県に81名を派遣するなど被災地の教育復興支援をおこなつた。

また感謝と友情をテーマに開催した第1回神戸マラソンでは、支援いただいた国内外の方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、「必ず復興できる」というメッセージを東北に発信できたことも大きな意味を持つた。今後も防災教育を一層

「子どもたちに伝えたいこと」として、自らの被災体験と東北への思いを、柴田恵里さん(西宮・苦楽園小)から語っていただいた。



「アヴェ・マリア」などが歌われた

「アヴェ・マリア」などが歌われた。澄み切った子どもたちの歌声と復興への思いがこぼれ落ちた歌詞に、感極まっていた遺族の方々もおられた。



西宮市立苦楽園小学校 柴田恵里さん

東北は身近な存在となつた。そんななか、今回の東日本大震災が起った。自分が被災した時に励ましてもらった東北に、少しでも役に立ちたい気持ちがすぐに湧き、西宮支部のボランティアに応募し現地へ向かった。子どもたちの中には、手紙や鉛筆などを届けて欲しいと持ってきた子どももいた。そんな子どもたちの思いも一緒に届けたかった。

6年生の夏休みには、被災した小学生を励ますプロジェクトで岩手県に招待していただいた。美しい自然や初めて見たキツツキ、みんなで食べたバーベキュー、温かいホームステイ先のご家族に支えられたように、本当に楽しい思い出として心に残っている。いつしか自分にとって

津波で流された街は約7ヶ月経つてもほとんどそのままの状態、何も無い土地が目の前にあつた。その日はずっと無意識で奥歯を噛みしめている状態だった。ボランティア活動では地元の方と土のうを作ったり、田んぼで瓦礫を片付ける作業をした。腰が痛くなりヘトヘトになった。被災した方々はこんな生活が何年も続くのかと思ふと言葉にならない。

「新学期になるとクラスの児童数は3分の2になっていた。被災した私たちが励まそうと、全国から支援物資や折り鶴、色紙などがたくさん届けられており、顔も名前も知らない人たちの温かい思いやりに「つながりあっているんだな」と勇気をもらったことを覚えている。

毎年1月17日に子どもたちに伝えていっていることがある。それは、「今この仲間を大切に、今この瞬間を生きていこう」ということだ。また明日ね、と帰る時に言うけれど、また明日、が来なかったあの日。教室に全員が集えなかったあの日。一瞬にして普通の生活ができなくなつた悲しさ、寂しさ。そして見知らぬ人から励まされた、6年生のあの夏、勇気をもらった言葉。

津波で流された街は約7ヶ月経つてもほとんどそのままの状態、何も無い土地が目の前にあつた。その日はずっと無意識で奥歯を噛みしめている状態だった。ボランティア活動では地元の方と土のうを作ったり、田んぼで瓦礫を片付ける作業をした。腰が痛くなりヘトヘトになった。被災した方々はこんな生活が何年も続くのかと思ふと言葉にならない。

十数年経つた今、自分の原動力となったように、人と人、温かいつながりを大切にしていこうという思いを子どもたちに語り継いでいきたい。」

生涯生活設計講座 開催中！

今春ご退職されるみなさまへ！

教職員共済生協の さぼ〜とプラン で充実のセカンドライフを！

年金コース ▶ 公的年金にプラスしてゆとりあるセカンドライフを

◆ご希望の年金額(月額1万円~6万円)、受取り方法に応じた掛金を一括払い。

受取り方法

- 定額型 公的年金に一定額を上乗せしたい方に
- 前払型 受取り当初5年間の備えを厚くしたい方に
- 遺贈型 物価上昇等に備えて年金を増やしたい方に

受取期間はそれぞれ10年・15年・20年・終身の中から選べます。 ※定額型のみ5年確定年金を選ぶこともできます。

ご契約例/定額型・月額5万円、受取期間10年

一時払掛金 568.8万円 → 10年間の受取総額 600万円

ご契約例は2011年12月現在の各予定率を基準に算出したものです。

生活保障コース ▶ まとまった資金で遺族保障。予備資金にもなります

退職金や余裕資金など、まとまった資金を活かして掛金を一時払い！解約時には解約返戻金が支払われるのでご契約後に資金が必要になったときも柔軟に対応できます。

ご契約例/基本契約: 300万円

年齢60歳女性の場合 一時払掛金/2,100,270円

基本契約 300万円(生涯保障)

解約返戻金の推移

3年後	5年後	10年後
2,122,380円	2,180,130円	2,326,020円

※ご契約後3年未満で解約された場合は解約返戻金が払込掛金を下回ります。
※解約されると以後の保障はなくなります。

■現職・退職を問わず60歳までは100万円~2,000万円、61歳~70歳の方は100万円~500万円の範囲でご契約いただけます(10万円単位)。
■掛金は性別・年齢により異なります。
■ご契約時に医師の審査は必要ありません。

ご契約例は2011年12月現在のものです。

資料請求は ▶ 教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所 〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8 電話(078)221-9730

承 10-企-18(1005)

子どもたちが安心して話せる大人、信頼される大人をめざす

第35回母と女性教職員の会 兵庫県集會

子どもたちに平和な未来を —つながらうともこいきょうび—

1月15日、第35回「母と女性教職員の会」兵庫県集會がラッセホールで開催され、約200人が参加した。

「母と」の運動は、「わが子、教え子再び戦場に送るな」をスローガンに、50数年全国各地、支部、県、ブロックでとり

以上重要とされる。「地域」は大きく連帯してとりくむ。この母女の運動の原点を確認し、人権・平等・平和・環境・民主主義を大切にされる共生社会をめざしていく。



大谷誠さん

「現状や留意点などが、ストレートな表現で予防の観点から語られた。具体的な事例からの話、会場からは驚きの声が上がっていた。参加者からは「親子、学校で話し合える機会をつくりたい」「指導するのは、子どもに人権、学校と児童養護施設の子どものために、忌部さんの実体験を含めた話があった。また、児童虐待の問題についてをグループ形式で話し合っ

分科会

第1分科会「子どもの人権を考える」では、忌部淑恵さん(前 兵庫教育文化研究所 副所長)から「子どもの人権―学校と児童養護施設の子どものために―」について、忌部さんの実体験を含めた話があった。また、児童虐待の問題についてをグループ形式で話し合っ



丹羽千世さん

母と女性教職員の会では、今後も教職員・保護者・退職教職員・地域の人々とともに学び、実践の交流を深め、運動の発展につなげていき、子どもたちが安心して育っていける社会づくりをめざしたい。

乳がんのことをもっと知ってみませんか?

『早期発見 家族の笑顔』

ご家族お揃いでの参加をお待ちしております



地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院である、近畿中央病院公開講座が、伊丹市医師会・尼崎市医師会の後援を得て、3月3日(土)午後2時から14時、ライクスホール(いかりビル)で開催される。

乳がんのことをもっと知ってみませんか? 乳がんの検診と治療についてイロイロくをテーマに、2部構成

会場 伊丹市ライクスホール 1・15・8・4F
阪急神戸線塚口駅北側下車にて徒歩3分

費用 無料
定員 先着順にて300名
お問い合わせ 公立学校共済組合近畿中央病院 企画課まで
072-781-3712 (平日8時30分~17時15分)

近畿中央病院公開講座



による講座がおこなわれる。第1部は、乳がん検診の流れやマンモグラフィー、乳腺超音波について。第2部は、最近の乳がん手術、ホルモン療法、抗がん剤、分子標的治療など。また、乳がんに関する質疑応答がある。



上村茂仁さん (ウィメンズベリニク・かみむら院長)

「子どもたちに平和な未来をつながらう」ともいきよう」のテーマのもと、上村茂仁さん(ウィメンズベリニク・かみむら院長)から「メール相談から見える子どもたちの現状―親子で話し合うために―」と題した記念講演があった。

講演では、子どもからのメール相談を通して見えてきた、デートDVについて子どもたちのおかれている



忌部淑恵さん

「子どもからのメール相談を通して見えてきた、デートDVについて子どもたちのおかれている



お正月ファミリーパスル当選者発表

当選された方々のはがき。ご応募いただいたのはがきは、本部執行委員により厳正に抽選しました。

お正月ファミリーパスルにご応募いただき、ありがとうございました。ご応募総数189名のうち、正解者の中から抽選で20名様に粗品をお送りいたします。

- 植坂正昭(赤穂郡)、牛尾尚美(箕面市)、大西あけ子(揖保郡)、奥山雅俊(西宮市)、鎌田美佐江(佐用郡)、神前春美(伊丹市)、河西美和子(南あわじ市)、岸本幸代(加古川市)、北裏充(豊岡市)、楠千鶴(洲本市)、小松原淳美(川辺郡)、坂本晃章(南あわじ市)、高田功(神戸市)、谷由美恵(淡路市)、谷口浩之(三田市)、西田知子(伊丹市)、秦美香(宍粟市)、原田亜紀(西宮市)、藤本涉(神戸市)、水谷頼子(朝来市) 50首順、敬称略

鍋フェスタ

10周年 おかげさまで

前売チケット 1枚=¥1,500で販売!

前売チケットをご購入の方に限り 食後のデザートはプレゼント!

前売チケットは1Fフロント レストランにて販売しています

年末・年始(12/30~1/3)のご利用は事前にご予約ください

2011年 11/1(火) ~ 2/29(水)

11:00~14:00
17:00~21:00

最終20:00までにご来店ください
日・祝の営業は18:00までとなります
但し、ご予約の際は事前にお問い合わせ下さい

ラッセホール 10周年に合わせて 自慢の鍋物 10種類をご用意

前売チケットご利用の方に限り

当日価格 ¥1,750 前売チケット1枚 (税込) もつ鍋 みぞれ鍋	当日価格 ¥3,500 前売チケット2枚 (税込) 寄せ鍋 すき焼き チゲ鍋 ラッセ鍋 豚しゃぶ	当日価格 ¥5,250 前売チケット3枚 (税込) 蟹すき あんこう鍋 丹波地鶏の水炊き
---	--	--

当日価格 ¥1,700
フリードリンク(2時間制)
前売チケット1枚 ¥1,500 (税込)

- 生ビール(個室の場合は販別)
- 日本酒
- 焼酎
- ウイスキー
- ワイン(赤・白)
- チューハイ
- ソフトドリンク

日本酒は東北地方支店として東北地方産もご用意します。

ご予約・お問い合わせは レストラン リビエラ TEL.078-291-1311

Lasse Hall

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117(代表)
FAX.078-291-0333
http://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com

●神戸市地下鉄東区前駅より徒歩5分 ●JR.阪神元町駅より徒歩8分 ●JR.阪急・阪神、地下鉄三宮駅より徒歩15分 ●高速花園駅より徒歩15分 ●山陽新幹線新神戸駅より車で5分